

人口(男) …… 4,743人
 (女) …… 5,044人
 合計 …… 9,787人
 8月中の転入 …… 35人
 転出 …… 34人
 世帯数 …… 2,248世帯
 (8月末日住民登録人口調)

発行日・53・9・10(2,700)
 発行・秋田県合川町
 合川町役場
 編集・企画課

脳卒中地域ぐるみで健康管理



誰のものでもない、自分の健康

第一回健康まつり

健康な町づくりを町民ぐるみの運動に。第一回の合川町健康まつりは、六百人余りの参加者が集まり、病後追放を誓い合いました。開会を前に李偕子供会が踊り、奴踊りを披露。健康まつりにふさわしい、活発な踊りに、大きな拍手がわき上がりました。崑山町長が「職場と地域から、保健福祉を推進する体制はできあがったので、町民の総参加により、運動を盛り上げよう」とあいさつ。続いて、脳卒中予防標語の入選者六人を表彰しました。

小畑知事は、短命県返上を強く訴え、「誰のものでもない自分の健康。健康はすべてではないが、健康を失うとすべてを失う」と結びました。座ったままでできる健康体操を、泉和広社教主事が指導。お年寄りも背骨を伸ばしてイチ、ニ、サン。講演の疲れをとりました。

記念講演は、平鹿総合病院の菅谷彪副院長が「成人病は防げる」と題して行ないました。農村の病気の事態を紹介しながら、健康管理と血圧測定で成人病は、防げると力説。皆検診への地域ぐるみの協力活動の必要を強調しました。会場内では、健康相談や血圧測定、栄養や生活設計の相談も行われ、保健婦さんたちは大忙し。きめ細かな指導が切れ間もなく、続いていました。

第一回の「まつり」は、実行委員の協力で、大きな盛り上がりを見せました。「まつり」をきっかけに高まった、町民の健康づくりへの関心を、長寿の町づくりに結びつけようと、関係者は、町民各層に、呼びかけを強めることにしています。

健康標語の表彰



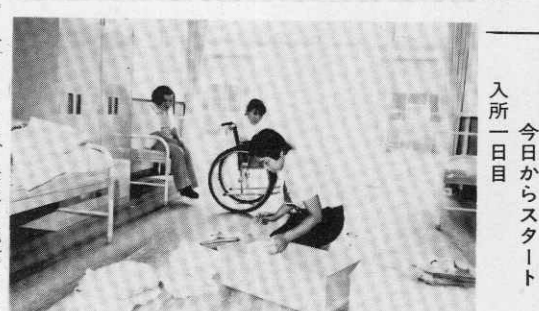
にぎわう健康相談



大野台グリーンハウスオープン 希望あふれる障害者



福祉の町に新施設



今日からスタート 入所一日目

美栄地内に建設がすめられた、重度身体障害者援産施設「大野台グリーンハウス」が、九月一日から開設されました。昨年設立された、社会福祉法人秋田県民生協会(木村修司理事長)の初の事業として行なわれるもので、総工費は、二億一千万円。

鉄筋コンクリート平屋建の居室、作業棟が完成し、一日には、八名が入所しました。すでに四十五名の第一次入所者が決まっております。九月上旬には、全員が入所し開所式が行なわれる予定です。

施設の内外部は、車イス利用の人たちも不自由なく生活し、職業指導が受けられ、細かな配慮がなされています。特に、浴室、洗面所は、誰でも不自由なく利用できるように工夫され、日当りのよい居室と

富士勝治所長以下十五人の事務員、指導員、寮母、栄養士、調理員、看護婦は、青森コロナなど福祉施設で研修を終え、受け入れ体制も万全。嘱託医には、公立米内沢病院院長浅野真彦氏を委嘱しました。

援産科目は、木工、印刷縫製の三科目。身体障害者により、作業能力を持ちながら、社会一般の職場で働ける程度や能力に適した作業

町長日記から

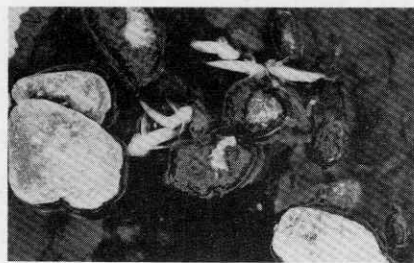
毎年行なわれる少年キャンプに、今年は朝の時間に出た。朝食の準備から配膳、食事とおわつて私は話した。

何人かの素早く手慣れた少年少女が、小中学生の区別なく、頑張っており、あとの大半は、ぼけっとして、つっ立っている。これは家で、お母さんが、お手伝いという形で生活の知恵を実習させないから。大きくなってから、一生の間大切な日常の暮らしの印象を教えないお母さんは、悪いお母さんだから、家に帰ったら、町長がそう話したと教えて下さい。

また、お手伝いをして小遣をもらう習慣も悪いこととて、大切なことをお母さんに教わるのだから、逆にそのことに感謝しなければならぬのだ、と結んだ。

飯ごうの皿を忘れた子供が、二人もいた。所有者がわからない。なるほど、ナップサックに詰めてきたので、飯ごうの組みがどうなっているのか、最初から知らなかったのだ。大変なことがらだと、つくづく考えさせられた。

(義)



このぶんでは豊作。

心配された水がれもなく、稲作は順調。「へいも、ながながぬげネ」とおばあちゃん。(川井地内で)

河原では……。

記録的な猛暑で、例年になく河原が広がりました。水温が上がり？カシカもダウン？(阿仁川新田目付近)

初めての町民盆踊り

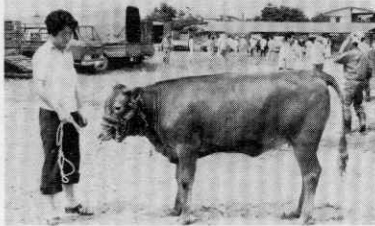
町民の夏祭りを〆と、まと火にあわせて、町民盆踊り大会。青年会の呼びかけで、千人余も集まりました。

ふるさとの火・マトビ

マトビは数えて、七回目。今年も、涼を呼ぶ幻想的な光のゆらめきを見せてくれました。(合川橋たもと)



安部さん 金田さん 一等賞の牛と



牛二十九頭を審査

家畜共進会

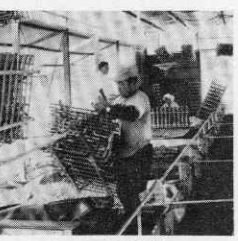
合川町家畜共進会は、八月一日、各畜舎を回って行なわれました。出陳頭数は和牛八頭、乳牛二十一頭、一等賞 金耕一(弥栄)

- 豚二頭、審査の結果、次の方々の牛が、入賞しました。乳用牛未經産一部 一等賞 安部寿勝(増沢) 同二部 一等賞 向井正隆(弥栄) 二等賞 金耕一(弥栄) 三等賞 佐藤忠一郎(川井)

町内の養蚕戸数は、今年度二十戸。異常高温のため品質評価はやや劣るとのこ

初秋蚕を出荷

晩秋蚕は、二百二十五頭が見込まれています。まゆ繭は、現在二千三百円前後と比較的安定。係



蚕の上族作業

おしらせコーナー

国民年金 年金で生きがいを!! 国民年金には、かけ金を納めた人が六十五歳で受けとる老齢年金と、七十歳以



やっかいものが資源に

合川町消費者会議では、八月十九日、全町廃品回収を行ないました。空ビン

おしらせコーナー

納め忘れがなく、かけ金が割り引きになります。ポミ立ると、積立同額まで借りが減ります。

おしらせコーナー

町内にアメリシロが発生しています。みついたら、すぐ役場農林課へ通報下さい。

大会では、障害にもめげず自立更生に努めた五氏、と自分たちでやろうと、団体の育成に功労のあった八氏を表彰。桜井ハルさん(下杉) 福田鶴雄さん(兼

困の理解を求めました。高山町長は、グリーンハウスの開設を報告。身障者の将来までも見守って、さらに福祉施設を充実させた

大会では、参議院議員安西愛子さんが講演を行ないました。安西さんは「歌のおばさん」として有名。長

安西愛子議員が講演

九月十日、スポーツ大会を余が参加しハンデに負けハイランドで開催。五百人ない熱戦が期待されます。

おしらせコーナー

動物愛護週間 (犬登録料は、10月から2,000円になります) やさしさと 厳しさを 9月20日から



身障者福祉大会のもようとお安西議員

北秋田郡鹿角郡の身障者福祉大会が、六日、合川中学校体育館で開かれました。大会には、身障者やその

九月十日、スポーツ大会を余が参加しハンデに負けハイランドで開催。五百人ない熱戦が期待されます。

お年寄りに対する特典

九月十五日から老人福祉税はかかりません。また、七十歳以上のお年寄りに対する所得税の特典を紹介し

消費者コーナー

Table with columns for various goods (sand, sugar, oil, etc.) and prices for different locations (川, 農協, 鷹巣町, etc.).

助け合い励まし合つて めざす自立

北秋田郡 鹿角郡 身体障害者福祉大会

安西愛子議員が講演

お年寄りに対する特典

消費者コーナー

不法表示に 気をつけよう

地域活動だより

地域活動だより

部 落 で ジ ョ ッ キ ン グ

木 戸 石 部 落



木戸石部落では「みんなで行こう、親子で歩こう、緑の中を」を合言葉に、部落ぐるみでジョッキングを行なうことになりました。部落の体協、婦人会、公民館の呼びかけで毎月三回一、二のつく日に行うことになった。コースは部落からハイランド展望台まで、往復、タツプリ二時間。九月一日の第一回には、園児からお年寄りまで四十人が参加。それぞれのペー

生バンドをたつぷり

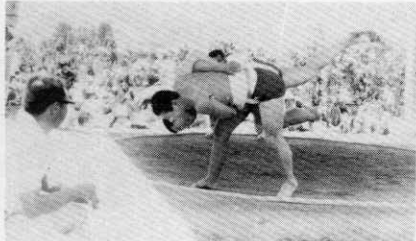
リバクロコンサート



リバクロサウンドのチャリティコンサートは、二百六十人余の観客とともに行なわれました。生バンドの演奏に、手品や、チビッコのピンクレディも登場して会場は大歓声。おなじみのメロディには、会場内から歌声も聞かれました。リバクロでは、収益金を福祉協議会に寄託。これからも趣味を自分だけのものにしないで、演奏の輪を広げたいと、練習を重ねています。

力強いぶつかり合い

町民相撲大会



第三回合川町相撲大会は二十七日、南小相撲場で行なわれました。会場には、百人余の観客が詰めかけ、相撲人気の高さがうかがわれました。かわい子チビツ子力士の健闘。一般の部では力強いぶつかり合い。接戦のすえ、学童の部では三里、一般は李倍が優勝しました。主な結果は次のとおり。団体 学童の部 準決勝 駅前3-2上杉

みんなの広場 公民館だより

折り返し点では、日付入りの記念スタンプ。体力づくりが部落づくりに結びつきそうです。

講師に 森 敦 氏

合川町産業文化祭は十一月四日(土)〜五日(日)に開かれます。日(日)に開かれます。が、文化祭の中心、記念講演の講師に作家森敦氏が「月山」で芥川賞を受賞。「鳥海山」など東北を題材にした作品も多くあります。執筆活動のあいまにテレビなどへの出演も多く、情熱を秘めた静かな語り口は、若い人からお年寄りまで、多くのファンがあります。ご期待ください。なお、産業文化祭は近日中に実行委員会を開きます。出品作品は今から準備しましょう。

みんなですすめる

交通安全

緊急安全運動

十九日、李倍地内で死亡事故が発生しました。町内では昨年四月にも川井地内で死亡事故が発生。また五月には、森吉町の国道で、当町の青年が事故死したばかり。町や、関係機関では事態を重視。八月二十一日から九月二十日までの一カ月間を「緊急交通安全運動期間」と定め、徹底した安全運動を繰り広げることにしました。

飲酒運転追放

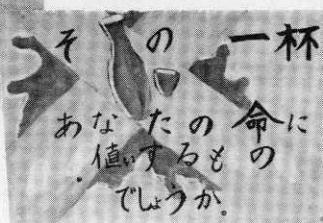
中学生がキャンペーン

おりから、県交通対策協議会では、飲酒運転の絶滅をめざして、県民運動を展開中。八月十二日には、合川中学校生徒会の皆さんが通勤時間の役場で、呼びかけを行ないました。行きかう車に、手作りのチラシをわたしながら、「安全運転で」と一声。生徒から募集した標語や作文、ポスターを掲示して、飲酒運転追放を訴えました。森吉警察署によると、町内の飲酒運転の件数は、全国的にも高いとのこと。合川中学生では、家庭内でも飲酒運転は起こさせないと誓っています。

町長も街頭へ

直接呼びかけ

二十九日、町長、安全協会合川支部長、森吉警察署長らが、全町で交通安全を呼びかけました。駅前など、交通量の多い五地区では、車を降りてマイクで呼びかけ、飲酒運転追放などを訴えました。緊急交通安全対策運動の一環として、町民の気持ちを引き締めようとした。町長が街頭で呼びかけを行うのは異例の事。立ち止まる人たちは、改め



④ 飲酒運転追放

⑤ 町長も街頭へ



飲酒運転追放標語
○ 飲酒運転、酒は悪魔の贈り物
○ 酒のむと、あなたの顔が、赤信号
○ 飲んだら、地獄の三丁目
○ その一杯、小さな幸せ
○ 大きな不幸、手を出さず、悪魔の水で、地獄行き
○ ちよつとまで、その一杯が家庭を不幸に

「おかえり」の一言運動を交通安全の目をつくらう

安全対策会議開く

八月二十六日、町、合川く対策を協議しました。町交通安全協議会、交通安全協会合川支部では、交通が、管内、管外の事故例を紹介。小さな不注意が大事に「お帰り」の一声で迎える運動を展開することにしました。死亡事故再発防止を緊急の課題とし、全町ぐるみの安全運動を、町内各団体、教育関係者、部落代表など六十名余が参加。幅広

ありがたい

善意のご寄付

慶弔だより

8月



次の方々から、故人の香典返しにかえて厚い浄財のご寄付をいただきました。紙上を通じて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
合川町社会福祉協議会
佐藤一四 川井 二万円
後藤佐知子 健一長女下杉 小笠原久美子 利男 長女 米倉竹良 上杉 三万円
庄司祐一郎 秋田市五万円
伊勢希美 俊成長女 駅前 伊藤貴子 和範長女木戸石 福岡勝也 勝芳長男 駅前 三浦和憲 剛 長男三木田 福田勇一 謙沢 三万円
福岡吉信 三里 三万円
福田カツ 勇一母 謙沢 福岡金助 本人 三里 高谷キク 常治妻 芹沢 木村清一 清 長男 李倍 セツ長男 上杉 土佐武司

元気の水しぶき

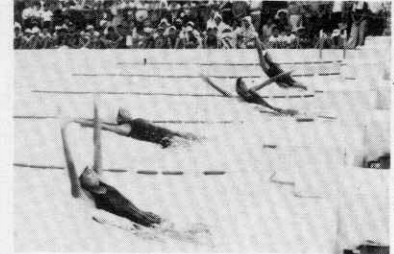
学童水泳大会

第九回を数える合川町の学童水泳大会は、二十三日、北小プールで開かれました。記録的な猛暑も、カッパたちには短い夏プールのまわりには、まっ黒な日焼け顔がならびました。今年も、練習時間にも恵まれ、新記録が続出。子供たちの声援でわきました。大会の優勝タイムは次のとおりです。(大会新記録)

- 五〇m平泳 五年女 藤島由喜子(北) 一分〇秒三 男(東)二分三秒三 男 庄司長岐雅人(北) 一分五秒二 六年女 桜井ひろみ(東) 一分五秒二 男 庄司義隆(西) 一分五秒二 男 福山正信(北) 一分五秒八 五〇m背泳 五年女 新田路理子(東) 一分五秒三 男 成田芳昭(西) 一分五秒七 六年女 岩沢由紀子(西) 五秒三 男 福山正信(北) 五秒九

開場祝大会

町民テニスコートは、八月十日完成し、連日、やわらかいボールの音が響いています。二十日には、開場祝を兼ねて、鷹巣阿仁部のテニス大会が開かれました。大会には百十名の選手役員が参加。四面の新しいコートで熱戦を繰り広げました。団体戦一部リーグが優勝。おりがと、健康まつりの参加者の観戦も多く、テニスの楽しさを満喫していました。



元気な水しぶき 学童水泳大会